

1 学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、テーマについてまとまりのある文章を書く力を付けさせるために、事実や考えを整理し、どのように書くとよりよく読み手に伝わるのかを考えながら書くことを意識させることが大切である。その際、書く内容を想起できるようにすることや、伝えたい内容を読み手に正しく伝えるために、語や文法事項等を理解して文章を書くことができるように指導することが必要である。また、英文の内容や表現を改善していく上で、教師がフィードバックを与えたり、他の生徒の英文から学ぶ機会を設定したりすることも必要である。

指導例

テーマについて考え、まとまりのある文章を書く力を単元の学習を通して身に付けさせる指導

～単元名 BLUE SKY English Course3 Unit6 Lively Towns in Japan（第3学年）～

【単元の学習に入る前の教師の準備】

AOMORI ENGLISH MODEL と CAN-DO リスト等を用いて、バックワードデザイン（逆向き設計）で単元の指導計画を立てる。

学習指導要領では、単元ごとに育成を目指す資質・能力の具体を明らかにし、資質・能力がしっかり育っているかを単元の学習を通して確認しながら授業を進めていくことになっています。

ポイント

- ・単元目標とコミュニケーションを行う目的・場面・状況が設定されたパフォーマンス課題を示すことにより、学習の見通しをもつ。
- ・評価規準を明確にすることで、目標を達成している姿を具体的にイメージする。
- ・小学校の教科書や AOMORI ENGLISH PACKAGE 等を活用することで、小学校における学び（テーマ、語彙や表現、活動等）との関連を意識する。

【単元の1時間目】

1 生徒に学びの方向性を確認させる。

学習活動 単元の冒頭に、教師から単元のゴールとその評価方法、またどんな授業を行うのか説明を聞き、今後の学びに見通しをもつ。

My American friend will come to Aomori this winter. She sent me a video message. Let's watch it.



Hi, I'm Ellen. I'm going to travel to Japan for the first time this winter. I'm going to stay in Aomori for five days. I'm interested in Japanese food, history and festivals. I also love hot springs. I'm looking forward to visiting Japan. Please tell me about nice places and things in Aomori.

She wants to know nice places and things in Aomori. Please send her an e-mail with your ideas.



ポイント

- ・パフォーマンス課題を、いつ、どのように評価するのか見通しをもたせる。
- ・メッセージビデオを見たり質問を考えたりすることで、相手意識や活動の必然性をもたせる。

【パフォーマンステスト前まで】

2 実際の言語の使用場面に近い状況でパフォーマンス課題に挑戦させる。

学習活動

パフォーマンス課題に挑戦する。



パターンプラクティスなど練習を積み重ねてからではなく、実際の言語の使用状況を意識して、まずはパフォーマンス課題に挑戦させてみましょう。

教科書の本文にあるSakaiminato is famous for Mizuki Shigeru Road.という表現は、自分の地域に置き換えるとAomori city is famous for niboshi ramen.と書くことができるな。他にも使える表現はあるかな？「私はあなたにそれを食べてほしい」ってどう表現したら伝わるかな。



ポイント

- ・パフォーマンス課題を達成するには、教科書のどんな表現が有効か確認させる。
- ・既習事項で表現できることを確認させたり考えさせたりする。

3 毎時間の学びがパフォーマンス課題に結び付いていることを意識させる。

学習活動

書いた英文をペアやグループで読み合うなどの活動と中間指導を繰り返す中で読み手を意識し、自身の英文を内容面、言語面で振り返り、改善を図る。

友達が書いた英文では、Have you ever～？と相手に質問したり、I wish I could eat niboshi ramen every day.と自分の気持ちを入れたりしていたな。エレンさんに、より興味をもってもらえるように、自分もその表現を取り入れたいな。



ポイント

- ・参考になりそうな表現や共通する誤りは、全体で共有し、確認させる。
- ・読み手やコミュニケーションを行う目的・場面・状況を意識しながら、文と文の順序や相互の関連に注意し、全体として一貫性のある文章を書けるように表現を積み重ねさせる。

【単元の最終段階】

4 生徒を評価できるまで指導してから、パフォーマンステストに取り組ませる。

学習活動

単元のゴールである、エレンさんにメールを書く活動を行う。

～生徒のメールの英文～

Dear Ms. Ellen,

I'm glad you are looking forward to visiting Aomori this winter. I'll tell you some information about Aomori.

Have you ever tried niboshi ramen? Niboshi is dried small fish. The soup is made from niboshi. I know you like ramen very much. Aomori city is famous for niboshi ramen. ○○○ is one of the most famous ramen shops in Aomori. I wish I could eat ○○○'s ramen every day. Please try it! Also you like hot springs, right?
.

【単元のまとめ／振り返りの時間】

5 活動を振り返り、成長を自覚させる。

学習活動

これまでの活動を振り返り、過去と現在を比較して成長を実感する。